

保育施設の整備方法等に関するサウンディング型市場調査
質問及び回答

	問	答
■サウンディング型市場調査に関する質問		
-		
■施設整備事業に関する質問		
1	整備候補地に整備した場合、陸上競技場が義務教育学校の校庭となるが、運営上支障はないか。	陸上競技場は、義務教育学校（1年生から9年生）のグラウンドとなります。認定こども園の運営には支障をきたさないと考えます。
2	敷地外からの不審者対策はどのように考えているか。	施設整備時に柵を設けるなど、一般的な対策を考えています。
3	利用者の車による送迎時、敷地内外の安全確保・対策はどのように考えているか。	進入路の拡幅を検討しています。敷地内においては、施設の配置等を考慮し安全確保を検討します。
4	冬季間における室内遊びの空間環境を想定しているか。大型屋内遊戯施設を敷地内に整備する検討余地はあるか。	室内遊びの空間環境については、施設整備時に検討が必要と考えます。なお、敷地内への大型屋内遊戯施設については、公設での整備計画はありません。
5	施設整備は一棟集中型か機能分散型か。	施設整備に関する設計については、参加事業者の運営方針によるものと考えます。

6	地域交流を実施するための施設機能を有する予定はあるか。	参加事業者の運営方針によるものと考えます。
■施設運営に関する質問		
1	現在の敷地内にある中学校の学年ごとの定員は何人か。	定員はございません。現状、1年生39名、2年生49名、3年生35名です。
2	設置予定の義務教育学校の学年ごとの定員は何人か。	定員は設けません。
3	今後の未就学児の人口推移等の予測データはあるか。	現在、村山市こども計画（令和7年度から11年度）を策定中です。この中でこども・若者の人口の推移を推計しております。公表は令和7年3月下旬を予定しております。
4	平成30年に実施した「子育て支援事業に関するニーズ調査」について、次回の調査の予定は決められているか。	令和5年度において実施しております。なお、調査結果については市ホームページをご覧ください。
5	現在ニーズの高まりがある障がい児通所支援事業所類の開設は検討しているか。	障がい児通所施設は市内に2か所ございます。公設による整備は検討していませんが、民設による整備については相談に応じます。
6	本施設において義務教育学校の児童生徒における発達障がい児に対する支援はどのように対応・展開するのか。また、既存施設における村山市の支援実態はどのような状況か。	義務教育学校においては、必要に応じ特別支援学級を設けます。また、必要に応じ特別支援教育補助員を配置します。既存施設においても同様です。
7	敷地内にある中学校に特別支援学級は設置されているか。また、義務教育学校にも特別支援学級は設置されるか。	現在、特別支援学級を設置しております。義務教育学校においても必要に応じ設置します。

■その他		
1	本事業が公募となった場合の運営事業者の選定方法はどのような手法か。	企画競争入札（プロポーザル方式）を予定しています。
2	事業者の参加資格及び条件はどのように想定しているか。	検討中です。
3	現在、はやま認定こども園に併設されている子育て支援センターの直近3か年の利用状況（組織・総数・リピーター数・利用児童年齢別数・地域別人数等）はどうか。	利用者総数 R3 1,038人（内、市内963人、市外75人） R4 2,448人（内、市内2,420人、市外28人） R5 1,125人（内、市内975人、市外150人）